

(0760200001-0)

令和 7 年度 施工

工 事 () 設 計 書

工 事 場 所

鳥取市 河原町水根 地内

工 事 名

河原町水根地内配水管仮設工事

工 期

着 工 令 和 年 月 日

完 成 令 和 年 月 日

鳥取市水道局

変更設計金額

工事金

円

元設計金額

< 理由 >

鳥取市都市整備部南地域工事事務所施行、市道日柄福田線日柄橋修繕工事（1工区）に伴う配水管仮設工事

< 概要 >

(仮設)

仮設配水管 HPPE φ 75 L=65.1m

H形鋼桁 H-250×250 L=11.5m

(廃止)

廃止配水管 VPRR φ 75 L=46.1m

積 算 情 報 表

(0760200001-0)

P. 4

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施		
変更回数	当初		
積算基準 ^{パターン}	47:令和6年度厚労省基準(R6.7適用) (消費税10%)		
設計年度	令和07年度		
単価適用地区	12 河原町		
単価適用日付	令和07年03月15日 (32)		
適用率	01 開削工事及び小口径推進工事等		
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下		
共通仮設費補正	一般交通影響あり②		
週休2日補正	1:4週8休以上		
(週休2日)交替制工事	なし		
(週休2日)共通仮設費係数	1.04		
(週休2日)現場管理費係数	1.06		
(週休2日)機械経費係数	1.04		
(週休2日)労務単価係数	1.05		
(週休2日)市場単価係数	適用する		
現場環境改善費	計上しない		
現場環境改善費地域			
現場管理地域補正	一般交通影響あり②		
熱中症対策補正	なし		
契約保証費率	金銭的保証		
豪雪補正	補正有		

本 工 事 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	直接工事費				式	1			
	共通仮設費				式	1			
		対象外費			式	1			
			桁等購入費		式	1			
			管材費		式	1			
		処分費等			式	1			
		処分費等対象額			式	1			
		処分費等(3%超過分)			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			

本 工 事 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
		技術管理費			式	1			第4号内訳書
	純工事費				式	1			
	現場管理費				式	1			
		対象外費			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
	工事原価				式	1			
	一般管理費等				式	1			
		一般管理費			式	1			
			対象額		式	1			

本 工 事 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
			率計算分		式	1			
		契約保証費			式	1			
	工事価格				式	1			
		消費税等相当額			式	1			
	本工事費				式	1			

本 工 事 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	配水管布設工			HPPE, φ 75	式	1			第1号内訳書
	架設工				式	1			第2号内訳書
	廃止管撤去工			VPRR, φ 75	式	1			第3号内訳書
	合計								

第1号の1		配水管布設工 1式当たり内訳書					HPPE φ75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
材 料	小 計	式	1					
水道配水用ポリエチレン管	受口付 HPPE φ75×5000	本	5				(JWWA K 144), 管材費	
水道配水用ポリエチレン管	フレンソント [°] HPPE φ75×5000	本	7				(JWWA K 144), 管材費	
EFソケット	HPPE φ75	個	4				(JWWA K 145), 管材費	
片受バンド	HPPE φ75×90°	個	1				(JWWA K 145), 管材費	
片受バンド	HPPE φ75×22° 1/2	個	3				(JWWA K 145), 管材費	
片受バンド	HPPE φ75×11° 1/4	個	3				(JWWA K 145), 管材費	
両受バンド	HPPE φ75×90°	個	6				(JWWA K 145), 管材費	
両受バンド	HPPE φ75×45°	個	3				(JWWA K 145), 管材費	
両受バンド	HPPE φ75×22° 1/2	個	2				(JWWA K 145), 管材費	

第1号の2		配水管布設工 1式当たり内訳書					HPPE φ75	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
両受バンド	HPPE φ75×11° 1/4	個	3				(JWWA K 145), 管材費	
メカニカル異種管継手	配ホリ×VP(鋼管)用 φ75	個	2				離脱防止付, 内外面粉体塗装, FCD製, 管材費	
鋳鉄サドル分水栓	HPPE用 φ75×φ25	個	1				管材費	
急排空気弁	小型 φ25	基	1				管材費	
急排空気弁用保温カバー	小型 φ25用	個	1					
配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	白ねじ無し 呼び径100A	m	3					
布 設	小 計	式	1					
ポリエチレン管据付工	呼び径75mm 融着接合	m	65.1				第9号単価表	
ポリエチレン管継手工	(2口当り) 呼び径75mm 融着継手	箇所	4				第10号単価表	
ポリエチレン管継手工	呼び径75mm 融着継手	口	40				第11号単価表	

第1号の3		配水管布設工 1式当たり内訳書					HPPE φ75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
ポリエチレン管切断工	呼び径75mm	口	19				第12号単価表	
ポリエチレン管継手工	メカニカル継手工 呼び径75mm	口	4				第13号単価表	
硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆工	フランジ短管トレッカージョイント 管径75mm	箇所	2				第14号単価表	
バルブ分水栓建込み工	ポリエチレン管 配水管呼び径75mm 給水管呼び径25mm	箇所	1				第15号単価表	
空気弁設置工	人力施工 呼び径13～25mm	基	1				第16号単価表	
鋼管布設工(機械力)	溶接管 吊込み据付 溶接口数:10口以下 100mm トラック[クレーン装置付] 4t積 2.9t吊	m	3				第17号単価表	
防凍工	呼び径80mm	m	27.6				第18号単価表	
管明示シート工		m	36				第19号単価表	
管明示テープ工(ポリエチレン管)	HPPE φ75	m	34.5				第20号単価表	
土 工	小 計	式	1					

第1号の4		配水管布設工 1式当たり内訳書					HPPE φ75	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	20				第21号単価表	
小型バック材による舗装版直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バック材 排対2次 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	m ²	6				第22号単価表	
アスファルト塊処理	小型BH山積0.13m ³ ダンプ 2t積 DID区間無し 良好 運搬距離12km	m ³	0.3				第23号単価表	
再資源化施設受入費	アスファルト塊(切削, 掘削) 八頭町郡家	t	0.7				処分費,	
バック材掘削積込	排対2次 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	m ³	14				第24号単価表	
管路埋戻(機械埋戻バック材)	タンパ 締固め 購入土 (山土 CBR≥12) バック材 排対2次 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	m ³	3				第25号単価表	
管路埋戻(機械埋戻バック材)	タンパ 締固め 発生土 バック材 排対2次 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	m ³	9				第26号単価表	
発生土処理	BH山積0.28m ³ ダンプ 4t積 DID区間無し 良好 運搬距離10.8km	m ³	5				第27号単価表	
建設残土処分料	地山 鳥取市長谷	m ³	5				処分費	
路盤工	クラッシャーラン C-30 施工幅1.8m未満 t=0.1m(1層)	m ²	6				第28号単価表	

第1号の5

配水管布設工 1式当たり内訳書

HPPE
φ75

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
路盤工	粒度調整碎石 M-30 施工幅1.8m未満 t=0.12m(1層)	m ²	6				第29号単価表
アスファルト舗装(人力)	車道・路肩部 再生密粒度アスコン(13) 舗装厚30mm 瀝青材散布なし	m ²	6				第30号単価表
ポンプ据付・撤去工		箇所	2				第31号単価表, 下水道用設計標準歩掛表
ポンプ運転工	作業時排水, 発動発電機 ポンプ2台	日	0.5				第32号単価表, 下水道用設計標準歩掛表
交通整理員(交通誘導員B)	昼間勤務	人・日	10				第33号単価表
合 計		式	1				

第2号の1

架設工 1式当たり内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
材 料	小 計	式	1				
H形鋼桁 (H-250)	H-250×250×9×14 L=5745mm SS400 穴あけ加工	本	1				[共通×]桁等購入費等
H形鋼桁 (H-250)	H-250×250×9×14 L=5750mm SS400 穴あけ加工	本	1				[共通×]桁等購入費等
添接板 (フランジ部外面)	PL-12×250×440 SS400 穴あけ加工	枚	2				[共通×]桁等購入費等
添接板 (フランジ部内面)	PL-12×100×440 SS400 穴あけ加工	枚	4				[共通×]桁等購入費等
添接板 (ウェブ部)	PL-6×180×310 SS400 穴あけ加工	枚	2				[共通×]桁等購入費等
受台	[-125×65×6×8 L=250mm SS400 穴あけ加工	個	14				[共通×]桁等購入費等
支持金具	Uバンド HPPE φ75用	個	14				[共通×]桁等購入費等
高力ボルト	F10T M22×L80mm	組	24				
高力ボルト	F10T M22×L65mm	組	8				

第2号の2

架設工 1式当たり内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
六角ボルト	M16×L70mm	本	24				
労 務	小 計	式	1				
上部工架設工	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型25t吊	t	0.95				第1号単価表
コンクリートアンカーボルト設置	あと施工アンカー(各種)	本	8				第34号単価表
コンクリートアンカーボルト設置	スリーブ打込み式 M16(W5/8)×120 電気亜鉛めっき	本	4				第35号単価表
台座コンクリート	1000×1000×1000 小型構造物	箇所	2				第2号単価表
仮設材等の積み込み・取卸し	鋼矢板, H形鋼, 覆工板, 敷鉄板等 基地積み-現場取卸積み-基地取卸	式	1				第36号単価表, 0.289t/枚×39枚
敷鉄板設置		m2	65.1				第3号単価表
敷鉄板撤去		m2	65.1				第4号単価表
敷鉄板賃料	22×914×1829, 289kg/枚 賃貸期間18日	枚	39				第5号単価表

第2号の3

架設工 1式当たり内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
合 計		式	1				

第3号		廃止管撤去工 1式当たり内訳書					VPRR φ75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
撤 去	小 計	式	1					
硬質塩化ビニル管切断工	撤去管 呼び径75mm	口	4				第37号単価表	
キャップ	V P φ 7 5	個	4					
TS継手工	1口当たり 呼び径75mm	口	4				第38号単価表	
管撤去工	VPRR φ75	m	46.1				第39号単価表, 形式撤去	
合 計		式	1					

第4号

技術管理費 1式当たり内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
通水試験工	給水車不要	日	0.03				第55号単価表
合 計		式	1				

第1号

上部工架設工 1t当たり単価表

ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型25t吊

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
橋りょう世話役		人	0.62			9	4週8休
橋りょう特殊工		人	2.1			9	4週8休
普通作業員		人	0.41			9	4週8休
<賃>ラフテレーンクレーン(油 圧伸縮ジブ型)	25t吊 オペレータ付	日	0.58				4週8休 長期割引適用外
諸雑費		%	6				
合 計		t	10				
単位当り		t	1				
種別	A = 01 架設			クレーン規格B = 01	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型25t吊		

第2号 台座コンクリート 1箇所当たり単価表								1000×1000×1000 小型構造物					
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
コンクリート		小型構造物	18-8-40BB	m3	1								第51号単価表
型枠		一般型枠	小型構造物	m2	4								第52号単価表
合計				箇所	1								

第3号 敷鉄板設置 1m2当たり単価表							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	0.152			9	4週8休
とび工		人	0.152			9	4週8休
普通作業員		人	0.152			9	4週8休
機-28_バックホウ運転(賃料)	クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	日	0.152			9	第7号単価表
諸雑費		%	1				
合 計		m2	100				
単位当り		m2	1				

第4号 敷鉄板撤去 1m2当たり単価表							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	0.143			9	4週8休
とび工		人	0.143			9	4週8休
普通作業員		人	0.143			9	4週8休
機-28_バックホウ運転(賃料)	クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	日	0.143			9	第7号単価表
諸雑費		%	1				
合 計		m2	100				
単位当り		m2	1				

第5号

敷鉄板賃料 1枚当たり単価表

22×914×1829, 289kg/枚
賃貸期間18日

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
(賃料)鉄板	22×914×1829, 289kg/枚 90日以内	枚・日	18				
(賃料)鉄板	22×914×1829, 289kg/枚 整備費	枚	1				
諸雑費		式	1				
合 計		枚	1				
敷鉄板規格 区分	A = 01 22×914×1829, 289kg/枚 B = 01 賃料			敷鉄板賃貸期間 (日)C = 18 整備費の有無D = 02			整備費有り

第6号

ポンプ運転工 1日当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	0.11			9	4週8休
普通作業員		人	0.05			9	4週8休
工事用水中ポンプ損料		日	1			9	第8号単価表
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	日	1			9	
諸雑費		%	18				
合 計		日	1				
排水区分 電源区分	A = 01 作業時排水 B = 02 発動発電機						

ポンプ台数C = 02 ポンプ2台
 工事用水中ポンプ規格D = 01 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m

第7号

機-28_バックホウ運転(賃料) 1日当たり単価表

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊運転手		人	1				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	119				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付)	山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	供用日	1.06				4週8休
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
	規格 A = 19 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 軽油消費量(L/日) B = 119			運転労務数量(人/日) C = 1 機械賃料数量(供用日/日) D = 1.06			

第8号

工事用水中ポンプ損料 1日当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
工事用水中モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径φ50mm全揚程5m	台	2				
合 計		日	1				
排水区分 ポンプ台数	A = 01 作業時排水 ポンプ2台 B = 02			工事用水中ポンプ規格C = 01 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m			

(日柄橋) 仮設配水管 数量計算書

HPPE φ 75

工種	名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要	
<材料>	水道配水用ポリエチレン管	EF受口付直管 φ 75×5.0m	本	5		
	"	プレーンエンド直管 φ 75×5.0m	本	7	※切管調書参照	
		EFソケット	φ 75	個	4	
		EF片受バンド	φ 75×90°	個	1	
		"	φ 75×22° 1/2	個	3	
		"	φ 75×11° 1/4	個	3	
		EF両受バンド	φ 75×90°	個	6	
		"	φ 75×45°	個	3	
		"	φ 75×22° 1/2	個	2	
		"	φ 75×11° 1/4	個	3	
		メカ形ジョイント	φ 75 (VP×HPPE)	個	2	
		空気抜き用 サドル付分水栓	HPPE φ 75×φ 25 保温カバー付き	個	1	
		小型空気弁	φ 25	個	1	
		配管用炭素鋼鋼管 白ねじなし	SGP 100A	本	1	3.0m
<労務>	ポリエチレン管布設工	φ 75	m	65.1		
	ポリエチレン管継手工	融着接合2口継手 φ 75	箇所	4		
	"	融着接合1口継手 φ 75	箇所	40		
	ポリエチレン管切断工	φ 75	口	19	※切管調書参照	
	メカニカル継手工	φ 75	口	4		
	サドル分水栓建込工	HPPE用 φ 75×φ 25	口	1		
	空気弁設置工	φ 25	基	1		
	鋼管布設工	100A	m	3.0		
	防凍工	φ 75	m	27.6	13.3+14.3	
	管明示シート工	ダブル 幅150mm	m	36.0	5.4+4.7+7.9+4.1+10.8+4.1-0.5*2	
	管明示テープ取付工	ポリエチレン管 φ 75	m	34.5	65.1-3.0-13.3-14.3	

切管調書 (ポリエチレン管)

HPPE φ75×5.0m

本数	切 管				残管	切断箇所
1	4.34	0.21			0.45	2
2	4.10	0.25			0.65	2
3	3.57	0.25	1.02		0.16	3
4	3.00	0.53	1.34		0.13	3
5	2.94	0.76	1.00		0.30	3
6	2.05	0.80	1.46		0.69	3
7	1.50	1.30	1.50		0.70	3
	切管用	配水管	7 本		切断箇所	19 口

φ75		延長/本	本数	小計	
直管	EF受口直管	5050	5	25.25	
甲切管	EF受口直管	1000	0	0	
	延長合計-		0		
乙切管	PE管	1000	8	31.92	
	延長合計-		31.92		
異	曲管 90°	320+320	640	0	
	曲管 45°	290+290	580	0	
	曲管 22° 1/2	240+240	480	0	
	曲管 11° 1/4	230+230	460	0	
	片受曲管 90°	320+220	540	1	0.54
	片受曲管 45°	290+190	480		0
	片受曲管 22° 1/2	240+140	380	3	1.14
	片受曲管 11° 1/4	230+130	360	3	1.08
	両受曲管 90°	220+220	440	6	2.64
	両受曲管 45°	190+190	380	3	1.14
	両受曲管 22° 1/2	140+140	280	2	0.56
	両受曲管 11° 1/4	130+130	260	3	0.78
	片受Sベンド(300H)	水平Z=780	900		0
	片受Sベンド(450H)	水平Z=930	1110		0
	片受Sベンド(600H)	水平Z=1080	1320		0
	両受Sベンド(300H)	水平Z=680	800		0
	両受Sベンド(450H)	水平Z=830	1010		0
	両受Sベンド(600H)	水平Z=980	1220		0
	レデューサ 100×75		400		0
	片受レデューサ 100×75		420		0
	チーズ				
	両受チーズ 75×50	280+100	100		0
		75×75 250+100	350		0
		100×75 310+140	310		0
		150×75 400+500	400		0
	片受チーズ 150×75	400+250+400	400		0
PE挿口付鑄鉄管T字管		730		0	
挿し口付ソフトシール弁		765		0	
異種管継手 75×75		295		0	
	100×75	505		0	
(ケ) EFフランジ		160		0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
部				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
		180		0	
		490		0	
総合計				65.05	

1本

受け口側-

枝+主

設計数量計算書(配水管布設工 φ 75)

土工① φ 75(市道車道)土被 0.70m L= 10.1m 土工② φ 75(未舗装)土被 0.70m L= 12.0m

土工③ φ 75(未舗装)土被 0.30m L= 14.9m

工種	規 格	延 長	単 位 数 量	数 量	適 要
目地切断 (m)	T = 50	10.1	×	2	20.20
	T = 50		×		
	T = 50		×		
	T = 50		×		

合計 20.20

計上数量 20cm以下 20m

工種	規 格	延 長	単 位 数 量	数 量	適 要
舗装破碎 (㎡)	T = 50	10.1	×	0.60	6.06
	T = 50		×		
	T = 50		×		
仮舗装分 破碎	T = 30		×		
	T = 30		×		
	T = 30		×		

合計 6.06

計上数量 10cm以下 6㎡

工種	規 格	延 長	単 位 数 量	数 量	適 要	
As運搬 (m³)	T = 50	10.1	×	0.60	0.7 t	
	T = 50		×			
	T = 50		×			
	L=11.2km (郡家)	T = 50		×		
		T = 50		×		
		T = 50		×		
		T = 30		×		
		T = 30		×		
	T = 30		×			
	T = 30		×			

合計 0.3m3 0.7 t

設計数量計算書(配水管布設工 φ75)

工種	規格	延長	単位数	数量	適要
管路掘削 (m ³)	0.28tBH・4tDT	10.1	× 0.60 × 0.74	4.48	
		12.0	× 0.60 × 0.79	5.69	
		14.9	× 0.60 × 0.39	3.49	
			× ×		
			× ×		
			× ×		
			× ×		
			すき取り分		

合計 14m³

工種	規格	延長	単位数	数量	適要
残土運搬 (m ³) L=10.8km (長谷)	0.28tBH・4tDT	10.1	× 0.60 × 0.74	4.48	
		12.0	× 0.60 × 0.79 - 5.57	0.12	流用土
		14.9	× 0.60 × 0.39 - 3.34	0.15	流用土
			× ×		
			× ×		
			× ×		
			× ×		

合計 5m³

工種	規格	延長	単位数	数量	適要
埋戻締固 (m ³) 真砂土		10.1	×(0.60 × 0.54 - 0.01)	3.17	
			× × -		
			× × -		
			× × -		
			× × -		

合計 3m³

計上数量 車道部 3m³

工種	規格	延長	単位数	数量	適要
埋戻締固 (m ³) 流用土		12.0	×(0.60 × 0.79 - 0.01)	5.57	
		14.9	×(0.60 × 0.39 - 0.01)	3.34	
			× × -		
			× × -		

合計 9m³

計上数量 車道部 9m³

設計数量計算書(配水管布設工 φ 75)

工種	規格	延長	單位數量	數量	適要
路盤工 (m ²)	C-30	T= 100	10.1 × 0.60	6.06	車道下層路盤(市道)
		T= 200	×		
		T= 200	×		
	M-30	T= 120	10.1 × 0.60	6.06	車道上層路盤(市道)
		T= 120	×		
		T= 120	×		

C-30	(m ²)	合計	
	T=100 (m ²)	合計	6m²
M-30	(m ²)	合計	
	T=120 (m ²)	合計	6m²

工種	規格	延長	單位數量	數量	適要
仮舗装 (m ²)	T = 30	10.1	× 0.60	6.06	
	T = 30		×		
	T = 30		×		

	合計	6m ²
計上数量	車道部	6m²

数量計算書

H形鋼桁(H-250)・受台

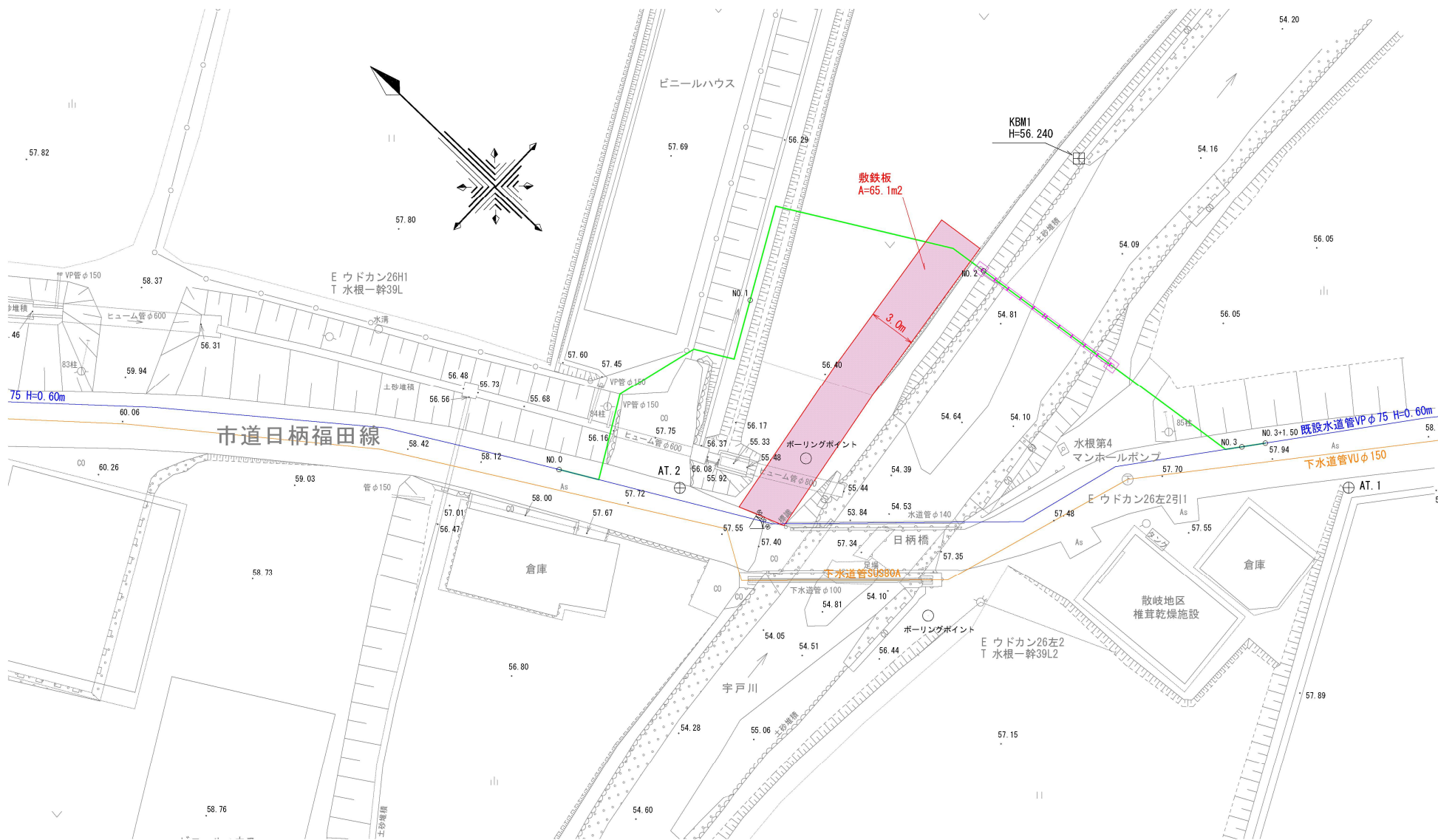
算出根拠図

鋼材加工図参照

1式当り

名称	規格	算式	単位	数量
H-250×250×9 ×14 L=5745mm	SS400 穴あけ加工	N=1本 $5.745\text{m} \times 71.8\text{kg/m} \times 1 = 412.491\text{kg}$	kg	412.491
H-250×250×9 ×14 L=5750mm	SS400 穴あけ加工	N=1本 $5.750\text{m} \times 71.8\text{kg/m} \times 1 = 412.850\text{kg}$	kg	412.850
PL-12×250×440	SS400 穴あけ加工	N=2枚 $0.25 \times 0.44 = 0.110\text{m}^2/\text{枚}$ $0.110\text{m}^2 \times 94.2\text{kg/m}^2 \times 2 = 20.724\text{kg}$	kg	20.724
PL-12×100×440	SS400 穴あけ加工	N=4枚 $0.10 \times 0.44 = 0.044\text{m}^2/\text{枚}$ $0.044\text{m}^2 \times 94.2\text{kg/m}^2 \times 4 = 16.579\text{kg}$	kg	16.579
PL-6×180×310	SS400 穴あけ加工	N=2枚 $0.18 \times 0.31 = 0.056\text{m}^2/\text{枚}$ $0.056\text{m}^2 \times 47.1\text{kg/m}^2 \times 2 = 5.275\text{kg}$	kg	5.275
[-125×65×6×8 L=250mm	SS400 穴あけ加工	N=14個 $0.250\text{m} \times 13.4\text{kg/m} \times 14 = 46.900\text{kg}$	kg	46.900
		鋼材総重量=914.819kg		
高力ボルト	F10T M22×L80mm		本	24
高力ボルト	F10T M22×L65mm		本	8
六角ボルト	M16×L70mm		本	24
接着系あと施工アンカー M16×L150mm	全ネジボルト M16×L200mm		本	8
あと施工アンカー	M16×L120mm		本	4

敷鉄板 数量算出図



敷鉄板(22×914×1829mm)

$$65.1 / (0.914 \times 1.829) = 38.9$$

N=39枚

現場説明書

令和7年4月1日以降適用（鳥取市水道局）

仕様書

①この契約において適用する仕様書は特に定めのない限り「鳥取市水道局水道工事標準仕様書」とし、調達公告日時点で最新の仕様書によること。また、この仕様書に定めのない事項は、「鳥取県土木工事共通仕様書」によること。
 ②鳥取県土木工事共通仕様書特記事項第2条の表1-1-1-9工事の下請負の項中「鳥取県調査基準規格及び最低制限価格等設定要領第5条」とあるのは、「鳥取市水道局建設工事低入札価格調査制度実施要領（平成11年11月15日制定）第4条」と読み替えるものとする。
 ③鳥取県土木工事共通仕様書特記事項第2条の表1-1-1-35諸法令の遵守の項中「鳥取県暴力団排除条例（平成23年鳥取県条例第3号）」とあるのは「鳥取市暴力団排除条例（平成24年3月鳥取市条例第1号）」と読み替えるものとする。

工期

①（他工事等との調整）
 本工事 については、 橋梁工事・下水工事 と関連するので相互の連絡調整を密にすること。

②（部分完成、着工保留）
 河川区域工事 については、 6月9日 まで に完成 （すること、しないこと）。

③（施工時間）
 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：30～17：00）を見込んでいる。
 _____の施工時間は、____：____～____：____とする。

④（標準工期）
 本工事における標準工期については以下の条件で算定している。また、余裕期間設定工事については実工期に余裕期間を加えたものを標準工期としている。

項目	適用
工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数
本工事に使用する雨休率	0.88（R1～R5 5年間平均値）
休日・悪天候以外の作業不能日	日（令和 年 月 日～令和 年 月 日）
標準工期（全体工期）	69日（余裕期間含む・含まない）

⑤（余裕期間設定工事）
 本工事は、鳥取市水道局余裕期間設定工事に係る実施要領の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。
 標準工期については、④のとおりとする。

⑥（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）
 この工事の工期には、鋼材調達期間として、 0.5ヶ月 を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

⑦（週休2日工事）
 本工事は、鳥取市水道局「週休2日工事」実施要領の対象工事である。

用地関係

①（用地、物件等未処理）
 本工事区間の 管布設箇所 には 私有地（民地） があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。
 なお、_____頃 _____ の予定である。

支障物件

①（埋設物等の事前調査）
 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔~~未調査~~（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 CATV）について調査済み〕である。
 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・~~電気・通信・ガス・その他~~_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。
 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。

②（支障物件）
 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。
 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。

③（立木の置き場所）
 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。

公害対策

①（低騒音型・低振動型建設機械）
 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。
 該当工種：_____、施工機械：_____

現場説明書

安全対策	<p>① (交通安全施設等)</p> <p>一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <p>交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>人・日 工事全体合計 <u> </u>人・日</p> <p>交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>人・日 工事全体合計 <u> </u>人・日</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>
濁水処理	<p>① (濁水処理)</p> <p>工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。</p> <p>また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について (平成29年10月3日付事務連絡生活環境課長通知) に基づいて適正に処理すること。 (参考URL https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousuetudan.pdf)</p> <p>② (千代川水系における濁水防止対策)</p> <p>本工事は千代川水系内における工事であり、濁水防止対策等については、千代川漁業対策協議会事業調整会議において [未調整・調整済み] である。</p> <p>なお、未調整工事については、<u> </u> 5月末 <u> </u> までに調整を行う予定である。</p> <p>工事の実施にあたっては、特記事項7、8を遵守し、汚濁等の防止に努めること。</p>
建設副産物の処理	<p>【建設発生土 (処理)】</p> <p>建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書 (https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm) により適切に対応すること。また、工事現場から離れた場所に一定規模以上の一時的な土石の堆積を行う場合は宅地造成及び特定盛土等規制法 (盛土規制法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html)</p> <p>① (他工事等流用) —</p> <p>建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> 工事現場に運搬 (片道運搬距離 <u> </u> km) するものとする。</p> <p>② (建設技術センター) —</p> <p>建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内のセンター事業所に運搬 (片道運搬距離 <u> </u> km) するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u> 円 (税抜き) をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。 (土質性状 (記載例) 砂質土、コーン指数300kN/m²以上)</p> <p>③ (民間残土受入地) —</p> <p>建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> に運搬 (片道運搬距離 <u> </u> km) するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u> 円 (税抜き) を <u> </u> に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。 (土質性状 (記載例) 砂質土、コーン指数 300kN/m²以上)</p> <p>④ (土質改良プラント)</p> <p>建設発生土は <u> </u> 鳥取 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 長谷 <u> </u> 地内の (株)中組 に運搬 (片道運搬距離 <u> </u> 10.8 km) するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u> 1,400 <u> </u> 円 (税抜き) を (株)中組 に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 土砂、コーン指数 300kN/m²以上)</p> <p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材 (処理)】</p> <p>① (分別解体等) —</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1m³当り <u> </u> 円 (税抜き) アスファルト塊 1m³当り <u> </u> 円 (税抜き) 建設発生木材 1m³当り <u> </u> 円 (税抜き)</p>

② (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・受入れ費用)

コンクリート塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____
 (運搬距離 _____ km)、費用 1 t 当り _____ 円 (税抜き)

アスファルト塊 _____ 八頭 市・町・村 _____ 郡家 地内の _____ におげ建設㈱
 (運搬距離 12 km)、費用 1 t 当り 2,000 円 (税抜き)

建設発生木材 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____
 (運搬距離 _____ km)、費用 1 t 当り _____ 円 (税抜き)

その他 () _____ 市・町・村 _____ 地内の _____
 (運搬距離 _____ km)、費用 1 t 当り _____ 円 (税抜き)

(受入れ時間帯) 8時～17時 (平日)

(受入れ条件) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm以下、長さ _____ m以下であること。

エ 2次災害発生の恐れのある物質 (廃油等) を含まないこと。

③ (他工事等流用)

[Co塊・ _____] は、 _____ 市・町・村 _____ 地内 _____ 工事現場に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。

④ (最終処理等)

_____ については、 _____ 市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出 (片道運搬距離 _____ km) を想定し、その費用として 1 t 当り _____ 円 (税抜き) を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑤ (産業廃棄物の処理に係る税)

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、 _____ 円 (税抜き) 見込んでいる。

⑥ (木材市場等へ売却)

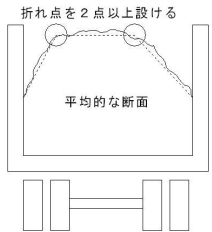
建設発生木材は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ への搬出 (片道運搬距離 _____ km) を想定し _____ 円 (税抜き) を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑦ (伐木工歩掛及び参考数量)

伐木工は伐木工歩掛 (令和元年10月15日付第201900175199号鳥取県県土整備部技術企画課長通知) による。また伐採工計算書に基づき参考数量として算出しているため、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑧ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、manifests で運搬量 (体積(空m3)) が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	 折れ点を2点以上設ける 平均的な断面
建設発生木材搬出量	manifests 又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑨ (manifests)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき manifests を作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の処理

現 場 説 明 書

建設副産物の使用	<p>① (建設発生土の使用) _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。なお、建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書 (https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm) により適切に対応すること。</p> <p>② (再生資材の使用)</p> <p>ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>ウ 再生クラッシャーラン〔規格：RC- _____〕は、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>エ 再生コンクリート砂〔規格：RS- _____〕は、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：密粒度 _____〕は、使用箇所：<u>仮舗装</u>に使用する。</p> <p>カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>キ 本工事において、再生クラッシャーランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。</p> <p>ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。</p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について)</p> <p>本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に鳥取市農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。</p> <p>【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】</p> <p>受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、鳥取市農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p> <p>② (農地の賃貸借)</p> <p>ア _____の用途に使用するため、鳥取市_____番地を賃貸借すること。</p> <p>イ 土地賃貸借契約書に「鳥取市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取市が有することとし、原状復旧の責は鳥取市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。</p> <p>ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。</p> <p>エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。</p> <p>オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。</p>
仮設備	<p>_____</p>
その他	<p>① (自社施工) _____ 本工事においては、<u>(※ _____ 工 (_____ 工を除く) のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領 (平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知) に定めるところにより自社施工しなければならない。</u></p> <p>※該当する細別 (レベル4) を記載する。</p> <p>② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、<u>河原町水根地内配水管仮設工事</u> とする。</p> <p>なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p> <p>③ (監督体制) 本工事の監督体制は (一般・重点) 監督とする。</p> <p>重点監督の工種は _____ とし、その他の工種は一般監督とする。</p> <p>なお、鳥取市建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。</p> <p>④ (三者協議) _____ 本工事は、_____ 工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。(重点監督工事等に適用)</p> <p>⑤ (技能士常駐) _____ 本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。</p> <p>ア 技能士種別：_____ 技能士、該当工種：_____ 工、特記事項根拠：_____ 頁</p> <p>イ 技能士種別：_____ 技能士、該当工種：_____ 工、特記事項根拠：_____ 頁</p> <p>ウ 技能士種別：_____ 技能士、該当工種：_____ 工、特記事項根拠：_____ 頁</p>

⑥ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」(平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知)に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑦ (実施単価全面改定時の適用単価)

実施単価全面改定後に指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。

⑧ (設計業務の委託者)

本工事は設計業務は アサヒコンサルタント(株) が行っている。

⑨ (建設機械の賃料の採用単価)

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り()〕

イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。

本工事は 工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格 t吊)の採用単価は、(通常単価・長期割引単価)(建設物価 月号 頁)を採用し、本工事は 工で使用を想定している高所作業車(規格 t吊)の採用単価は、(通常単価・長期割引単価)(建設物価 月号 頁)を採用している。

⑩ (現場環境改善)

本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。

1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む), 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

⑪ (熱中症対策)

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑫ (現場管理費補正)

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事と〔する←しない〕。
 熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、
<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm> (治山工事、林道工事の場合は
<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>) に掲載の熱中症対策に資する現場管理費補正の試行
 要領に基づき、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結
 果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前
 までに提出すること。

※但し、試行要領により難しい場合は監督員と協議すること。また、上記の要領により補正が計上し
 ている場合には、現場環境改善費の安全関係 3. 避暑(熱中症予防)を必ず実施し、監督員に報告
 すること。

~~⑬ (日本芝生産地への配慮)~~

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知
 (<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>))に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も
 含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア [張芝工・筋芝工]は、日本芝の[野芝・高麗芝]を使用すること。

イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工]に使用する種子に「バミューダグ
 ラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工]に使用する種子に「バミューダグラス」は使用し
 ないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当り _____
 円を見込んでいる。

~~⑭ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])~~

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事である。ICTの活用を希望する場合は、最新の
 「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

~~⑮ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)~~

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生す
 る恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到
 達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

~~⑯ (標示板の設置)~~

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事
 種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。標示板の記載及び記載
 内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日
 付け 国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。

⑰ (下請関係の適正化)

下請関係の適正化については、<https://www.water.tottori.tottori.jp/1833.htm>を参照の上労働者
 の福祉向上に務めること。

そ
の
他

千代川水系における濁水防止対策

1 千代川水系における工事の実施にあたっては、「千代川水系における汚濁防止対策申し合わせ（R6.1以降適用千代川漁業対策協議会）」に基づき以下の事項を遵守し、汚濁等の防止に努めること。

また、「具体的で詳細な濁水対策」を施工計画書に明記するとともに、実際に作業を行う機械のオペレーターをはじめとする全ての現場作業員に対して、新規入場者教育や毎日の朝礼等の機会に「具体的で詳細な濁水対策の行い方」を指導するなど、積極的な濁水対策を徹底すること。

ア 受注者は、汚濁防止（仮設足場等の設置を含む）に最善の注意を払い工事を行うこと。施工にあたっては、「ク 留意事項」を参照し、汚濁防止対策を徹底すること。

イ 汚濁防止等の対策は、千代川漁業対策協議会で協議の上合意されたものであり、汚濁防止対策の変更及び工期延長の恐れが生じた場合は、できる限り早い時期に監督員に報告し、指示を受けること。

ウ 汚濁防止施設等が設置された時点で、監督員の確認を受けること。また、撤去時においては残骸等がないようにすること。

エ 汚濁を生じる恐れのある仮締切の設置・撤去、瀬替や川替など河床掘削時は、監督員の立会を求めること。必要に応じて千代川漁業協同組合と協議すること。

オ 千代川漁業対策協議会において現地立会が必要と認められた箇所については、千代川漁業協同組合と発注者で現地確認を行い、問題が認められた場合には双方協議することとしているので、工事着手前には監督員に確認すること。

カ 大型土のうを設置する場合の番号の色は（黒）とする。大型土のうは、設置及び撤去後の数量が分かるように管理すること。

キ 千代川水系については、毎年2月下旬～3月中旬にはやまめ成魚、4月下旬～5月中旬には鮎苗の放流、7月上旬には、やまめ、いわなの稚魚の放流が予定されており、放流日（1日程度）の前後の期間（10日程度）は、汚濁等を流出させる工事は実施しないこと。やむを得ない事情により作業を行う場合は、汚濁防止対策について千代川漁業協同組合と連絡調整を行ったうえで細心の注意を払い作業を行うこと。

なお、稚魚放流等の詳細な日程については、監督員に確認すること。

ク 留意事項

河床掘削関係	(1)河床掘削する際は、額縁（がくぶち）掘削とすること。ただし、川幅が狭い等、額縁掘削ができない場合は、沈砂池を設けるなどの濁水対策を講じたうえで全面掘削を行うこと。 (2)発生した玉石（概ね20cm以上）は、残土処分しないで現地又は同一河川に戻すこととし、河床（水のあるところ）に並べるか、護岸の根に寄せ石を行い、魚の生息・休憩場所の保全に努めること。
石積工関係	(1)石積工の石材を現地採取する場合は、その代替となる石材を近くの中州や瀬替えにより掘り起こすなどして調達し、河床表面に敷き並べること。
仮設道路関係	(1)河川内に築造する仮設道路の盛土材は真砂土でなく現地河床材を使用すること。 (2)川を横断するための仮設道路については、ヒューム管上に盛土するのが一般的であるが、濁りを減らすために、H鋼と鉄板を利用した簡易な架橋工法も検討してみること。 (3)仮設道路を新設する場合、道路法面や路面から流出する濁水について対策を講じること。
土のう関係	(1)河川内に仮設する土のう袋の中詰土は、真砂土でなく現地河床材を使用すること。 (2)河川内で土のうを使用する場合は、土のうに番号（黒色）を打ち、設置時及び土のう撤去時に数量管理（写真管理）を行い、全数撤去を確認すること。また、流出防止のため、必要に応じてロープ等で連結すること。 (3)土のうが流出した場合は、下流を探し全数回収するとともに、全数回収できたことを証明する資料を監督員に提出すること。
沈砂池関係	(1)原則、沈砂池の底にブルーシートは敷かないこと。 (2)沈砂池に堆積したドロは、定期的に除去すること。 (3)高水敷が広い場合は、沈砂池は高水敷を掘削する方法を検討すること。 (4)沈砂池は、濁りの程度や湧水量に見合った大きさ、基数（連数）とすること。効果が不十分な場合は、増設等を行うこと。 (5)ノッチタンクについても、効果が不十分な場合は、容量を大きくする又は基数を増やす等、効果を見ながら対応すること。

現場説明書

8

千代川水系における濁水防止対策

2 本工事は、河床の改変を伴う工事であり、以下のとおり千代川漁協による完成前確認を行うこととしているので、検査希望日を1週間前までに監督員へ連絡すること。

1) 確認時期

- ・ 工事完了前の河床整理が概ね完了した時点。ただし、完成確認時の指摘等に対応できるようバックホウ等が現地にある時期とすること。

2) 確認事項

<河床状況>

- ・ 玉石をみお筋に並べたり、水中の護岸基礎部の保護を兼ねた寄せ石を行う等、魚類への配慮がなされているか。

- ・ 平滑な河床にせず、みお筋を復元する等、着手前の河床が復元されているか。

<仮設材（大型土のう等）等の撤去>

- ・ 仮設材（大型土のう等）が全て撤去されているか。
- ・ 設置時及び撤去時数量の管理資料（黒色番号入り空袋写真等）

<工事資材や発生したゴミ等の撤去>

- ・ 工事資材やゴミ等が河川内に残されていないか。

※ 明示する項目を____部分に記入または追記し、不要部分は一で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()	
工事の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材	
工作物に 関する調 査の結果	工作物の状況	築年数 _____ 年 その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約 _____ m その他()	
工作物に 関する調 査の結果 及び工事 着手前に 実施する 措置の内 容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	道路占用の許可申請
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 _____ m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 その他()	工事看板設置ヶ所の確認。 交通整理員の配置位置の確認。
	特定建設資材への付着物(解 体・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無	
	他法令関係 (解体・維 持・修繕工 事のみ)	石綿 (大気汚染防止 法・安全衛生法 石綿則) <input type="checkbox"/> 有 特定建設資材への付着(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) <input type="checkbox"/> 無	
	その他		
工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑥その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()	
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン	
廃 棄 物 発 生 見 込 量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み (全工事)並びに特定建設資材が使用される工 作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び 特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工 作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み
		<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	0.7 トン <input type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。


位置図

S=1:2500

河原町水根

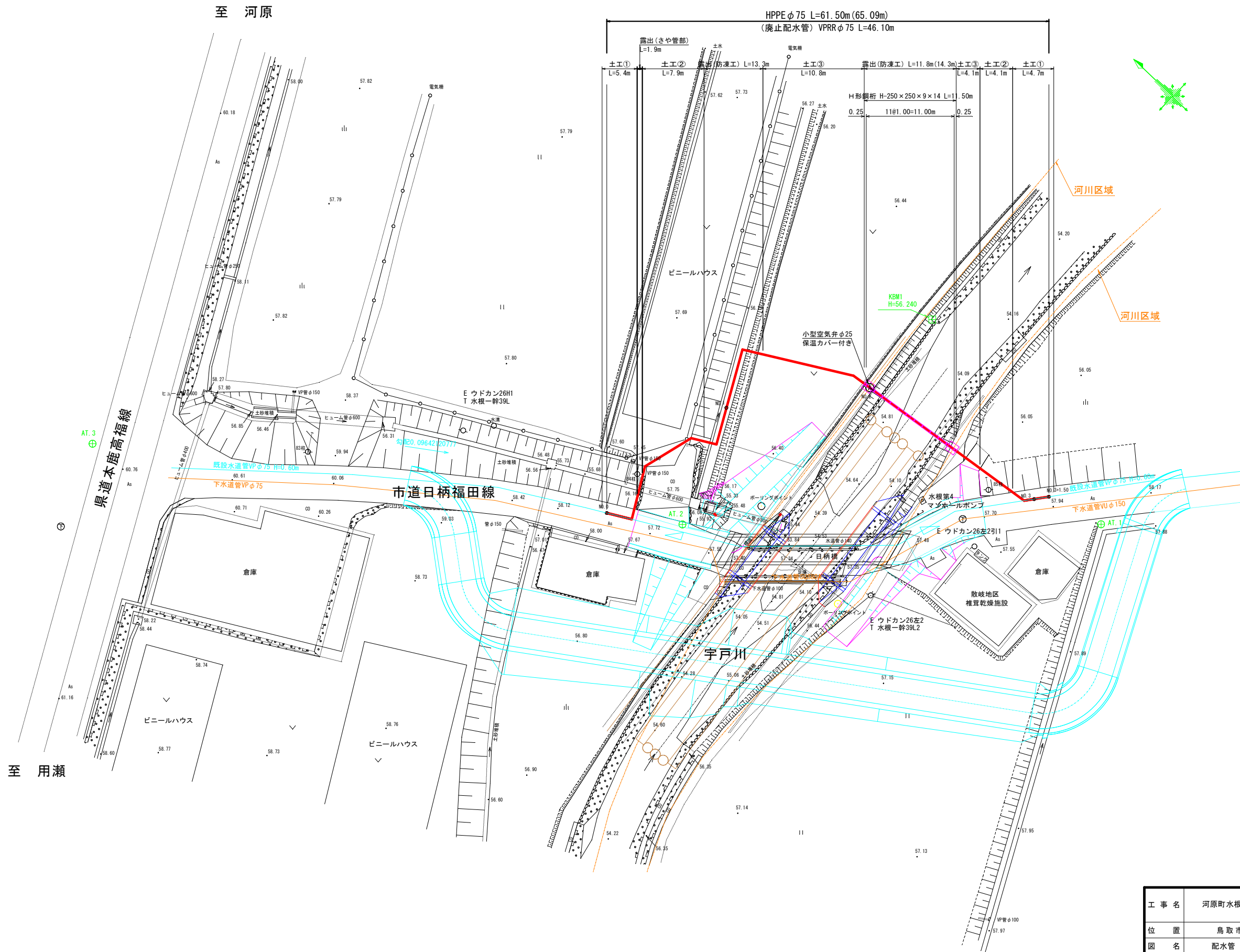
工事施工箇所

起工

工事名	河原町水根地内配水管仮設工事		
位置	鳥取市 河原町水根 地内		
図名	位置図		
縮尺	図示	図面Size	A4
単位	-	図号	1 / 6
施工年度	令和7年度		
 鳥取市水道局			

配水管 配管平面図 (仮設)

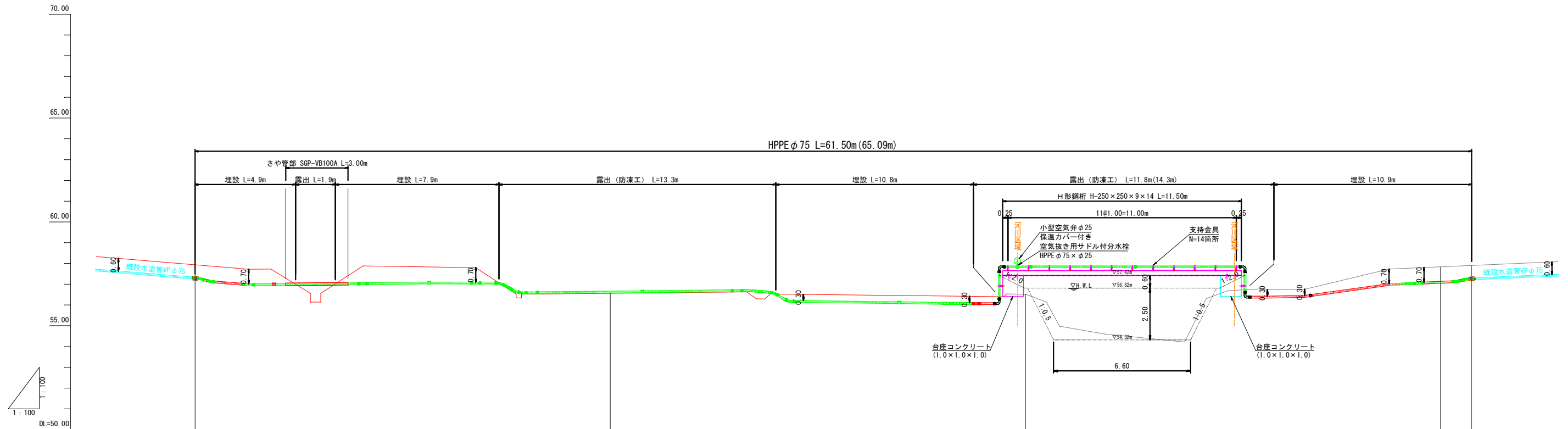
S=1:200



工事名	河原町水根地内配水管仮設工事		
位置	鳥取市河原町水根地内		
図名	配水管 配管平面図 (仮設)		
縮尺	S=1:200	図面Size	A1
単位	m, mm	図号	2 / 6
施工年度	令和 7 年度		
 鳥取市水道局			


配水管 縦断面図 (仮設)

V=1:100
H=1:100



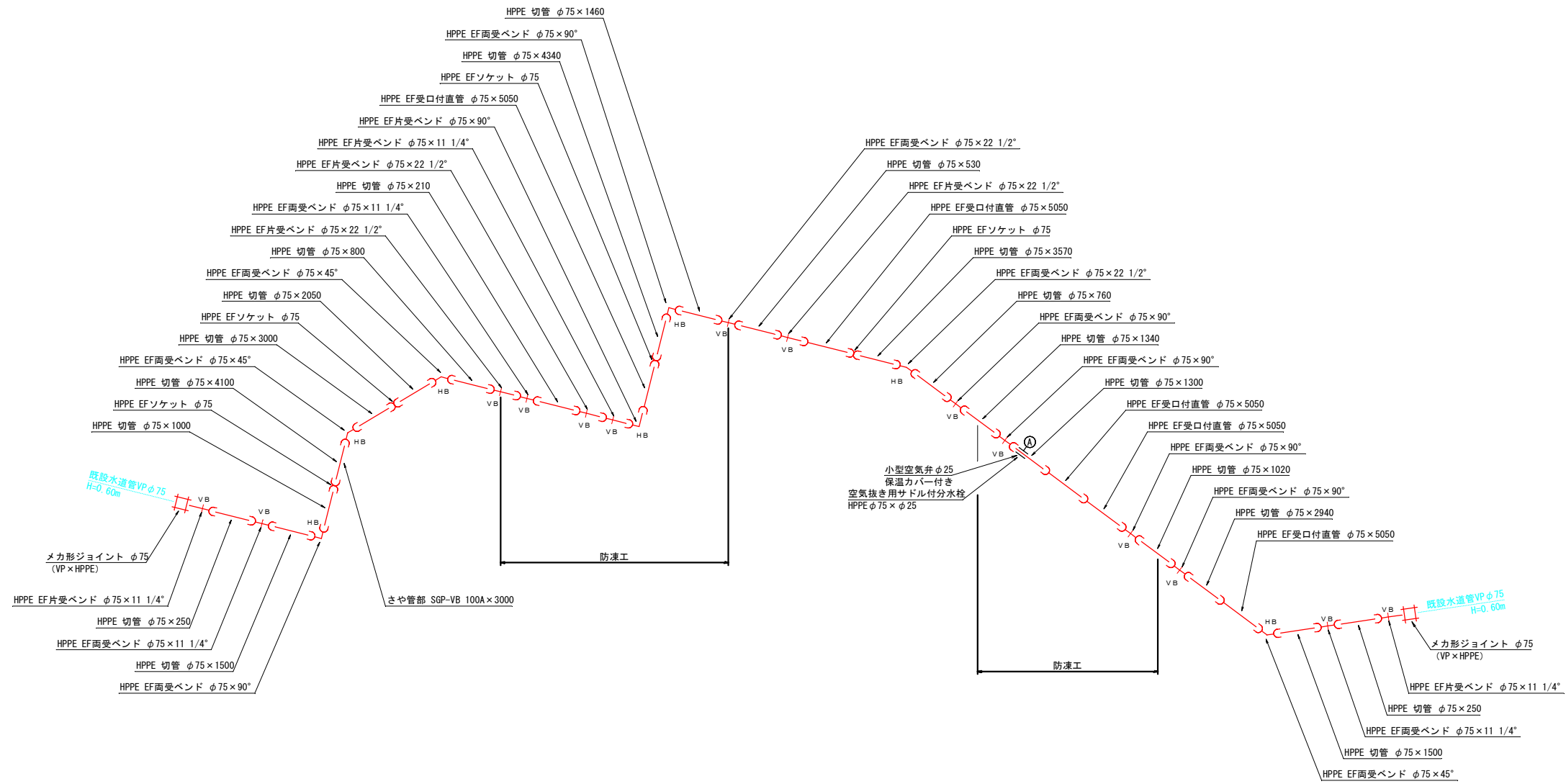
計画高	57.93	56.56	56.51	57.84	57.90
盛土高					
切土高					
地盤高	57.93	56.56	56.51	57.84	57.90
追加距離	0.00	20.00	40.00	60.00	61.50
単距離	0.00	20.00	20.00	20.00	1.50
測点番号	-NO.0	-NO.1	-NO.2	-NO.3	-NO.3 +1.50

A1 → A3 に縮小


工事名	河原町水根地内配水管仮設工事		
位置	鳥取市河原町水根地内		
図名	配水管 縦断面図 (仮設)		
縮尺	V=1:100 H=1:100	図面Size	A1
単位	m, mm	図号	3 / 6
施工年度	令和7年度		
 鳥取市水道局			

配水管 配管詳細図 (仮設)

Non Scale



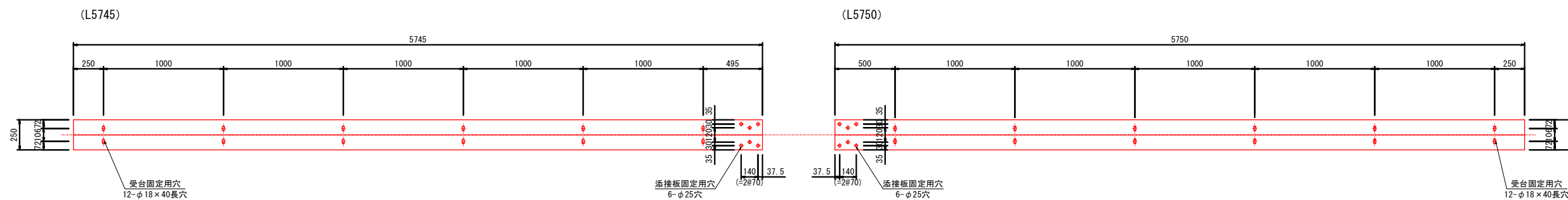
A1 → A3 に縮小

工事名	河原町水根地内配水管仮設工事		
位置	鳥取市河原町水根地内		
図名	配水管 配管詳細図 (仮設)		
縮尺	Non Scale	図面Size	A1
単位	m, mm	図号	4 / 6
施工年度	令和7年度		
 鳥取市水道局			

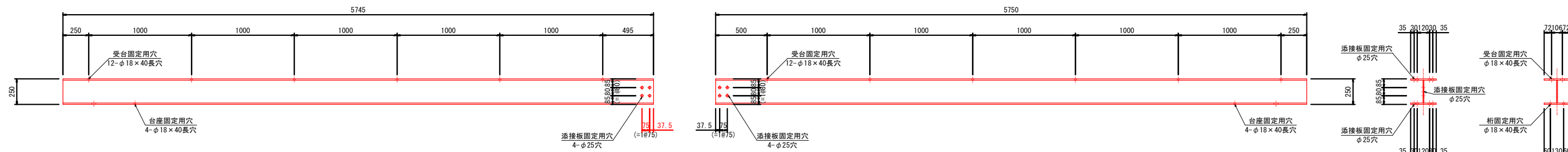
H形鋼桁

H-250×250×9×14 S=1:20

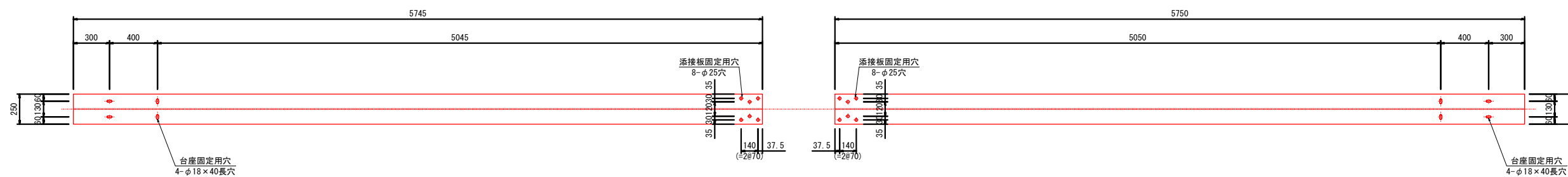
上面



側面

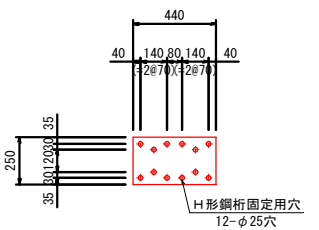


下面



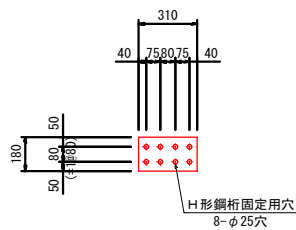
添接板 (フランジ部外面)

PL-12×250×440 S=1:20



添接板 (ウェブ部)

PL-6×180×310 S=1:20

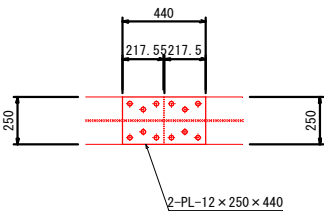


H形鋼桁ボルト継手参考図

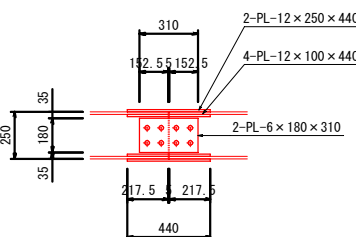
S=1:20

平面図

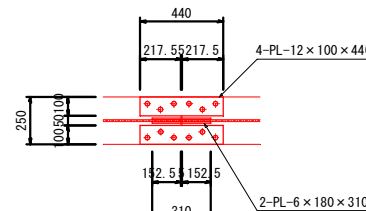
(フランジ部外面)



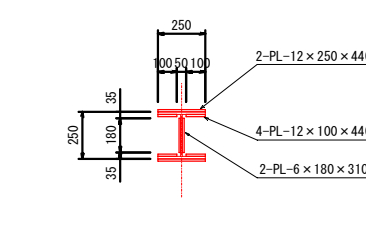
側面図



断面図

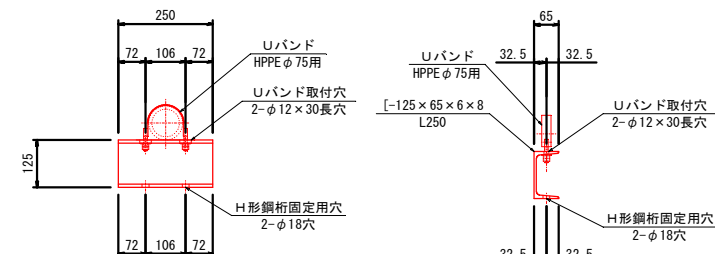


断面図



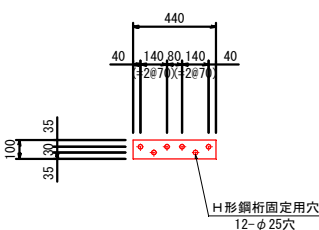
受台

[-125×65×6×8 S=1:10



添接板 (フランジ部内面)

PL-12×100×440 S=1:20



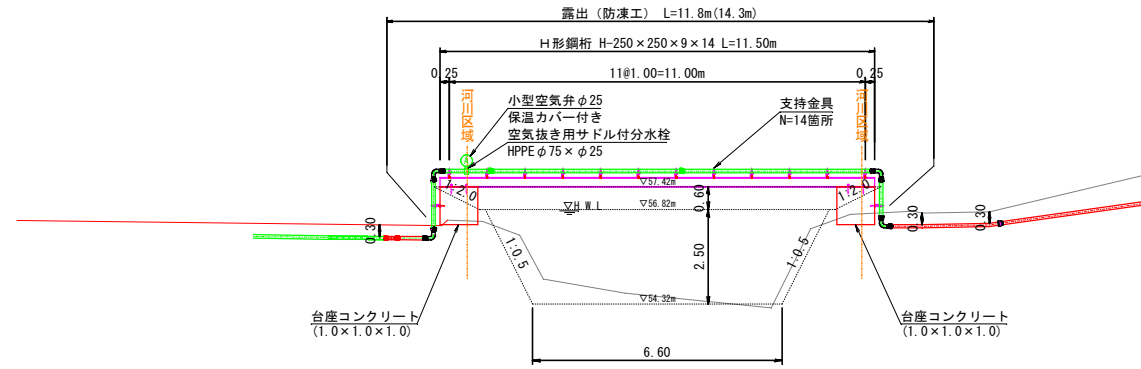
- ※ボルト本数
 H形鋼桁ボルト継手 高力ボルト F10T M22×L80mm 24本
 フランジ部 高力ボルト F10T M22×L65mm 8本
 ウェブ部 高力ボルト F10T M22×L65mm 8本
 H形鋼桁-受台固定用 六角ボルト M16×L70mm 24本

工事名	河原町水根地内配水管仮設工事		
位置	鳥取市河原町水根地内		
図名	仮設水管橋 鋼材加工図		
縮尺	図示	図面Size	A1
単位	m, mm	図号	5 / 6
施工年度	令和7年度		
鳥取市水道局			

A1 → A3 に縮小

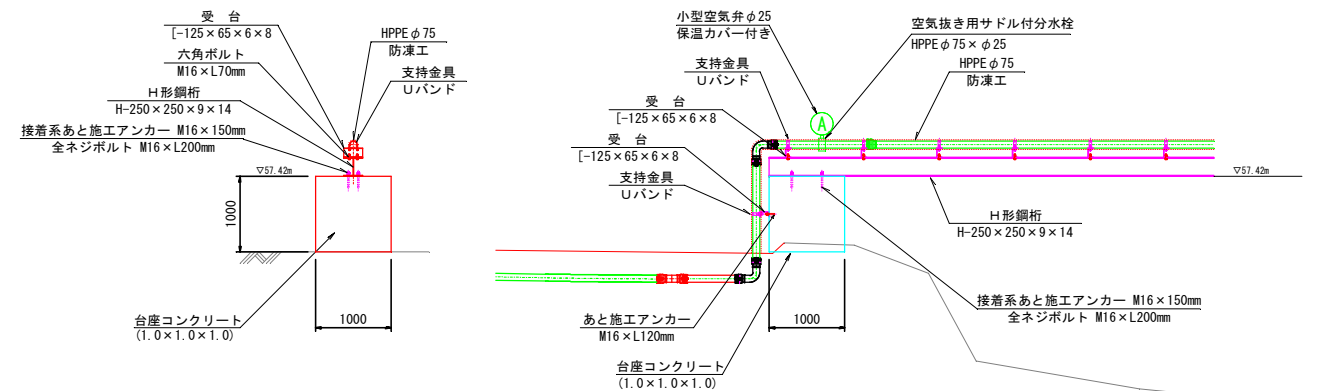
宇戸川横断面図

S=1:100



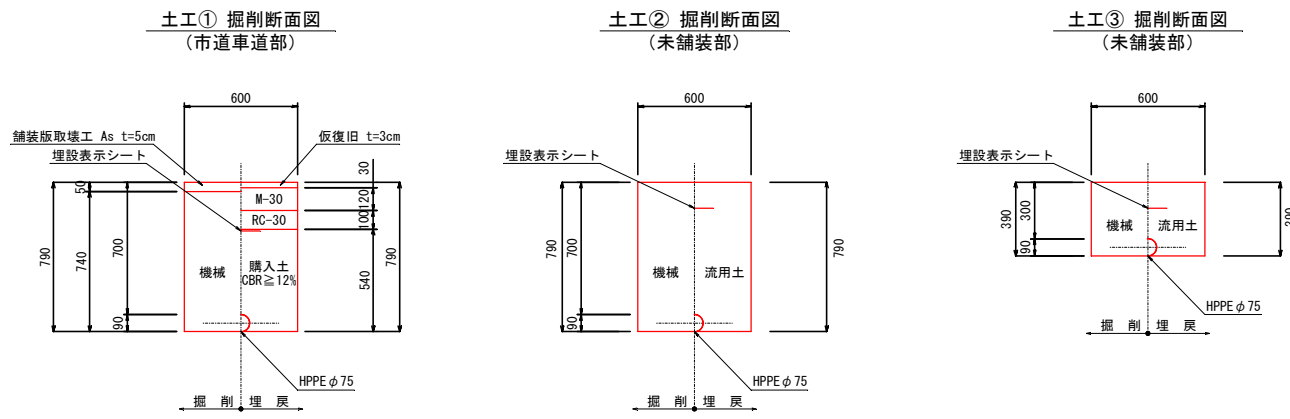
端部詳細図

S=1:50



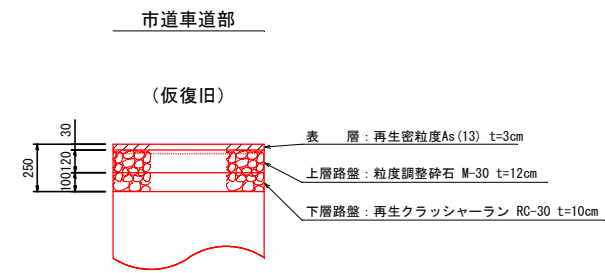
標準掘削断面図

S=1:20



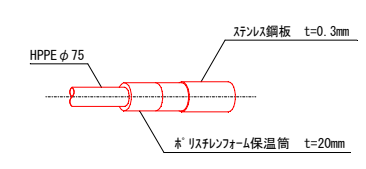
舗装復旧断面図

S=1:20



防凍工詳細図

S=NON



A1 → A3 に縮小

工事名	河原町水根地内配水管仮設工事		
位置	鳥取市河原町水根地内		
図名	標準図断面図、詳細図		
縮尺	図示	図面Size	A1
単位	m、mm	図号	6 / 6
施工年度	令和7年度		
鳥取市水道局			

河原町水根地内配水管仮設工事

積算参考資料

第9号		ポリエチレン管据付工 1m当たり単価表					呼び径75mm 融着接合	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
配管工		人	0.1				4週8休	
普通作業員		人	0.18				4週8休	
合 計		m	10					
単位当り		m	1					
	呼び径 A = 07 75mm						融着継手 (EF継手) B = 02 行う	

第10号		ポリエチレン管継手工 1箇所当たり単価表					(2口当り) 呼び径75mm 融着継手	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
配管工		人	0.08			9	4週8休	
普通作業員		人	0.08			9	4週8休	
諸雑費		%	8.5					
合 計		箇所	1					
融着継手 (EF継手)	呼び径 A = 07 75mm B = 02 行う			単位C = 01	1箇所(2口当り)			

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 第11号 ポリエチレン管継手工 1口当たり単価表 呼び径75mm 融着継手 </div>							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.056			9	4週8休
普通作業員		人	0.056			9	4週8休
諸雑費		%	8.5				
合 計		口	1				
融着継手 (EF継手)	呼び径 A = 07 75mm B = 02 行う			単位C = 02	1口当たり		

第12号		ポリethylene管切断工 1口当たり単価表					呼び径75mm	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
配管工		人	0.01			9	4週8休	
普通作業員		人	0.01			9	4週8休	
諸雑費		%	7					
合 計		口	1					
	呼び径 A = 07 75mm							

第13号

ポリエチレン管継手工 1口当たり単価表

メカニカル継手工
呼び径75mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.04			9	4週8休
普通作業員		人	0.04			9	4週8休
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				
	呼び径 A = 02 75mm						

第14号

硬質塩化ビニル管用鑄鉄異形管被覆工 1箇所当たり単価表

フランジ短管トレスサジョイント 管径75mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ポリエチレンスリーブ	φ 7 5	m	0.4			9	(JWWA K 158)
粘着テープ		m	1.7			9	
諸雑費		%	2				
普通作業員		人	0.03				4週8休
合 計		箇所	1				
種別	A = 04 フランジ短管トレスサジョイント				管径B = 01 75mm		

第15号

サドル分水栓建込み工 1箇所当たり単価表

ポリエチレン管
配水管呼び径75mm 給水管呼び径25mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.07			9	4週8休
普通作業員		人	0.07			9	4週8休
諸雑費		%	1				
合 計		箇所	1				
配水管呼び径	A = 02 75mm			給水管呼び径	B = 03 25mm		

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 第16号 空気弁設置工 1基当たり単価表 人力施工 呼び径13~25mm </div>							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.05			9	4週8休
普通作業員		人	0.1			9	4週8休
諸雑費		%	1				
合 計		基	1				
	施工方法 A = 02 人力施工 種別 B = 01 空気弁			呼び径 C = 01 13~25mm 作業種別 D = 01 設置			

第17号

鋼管布設工(機械力) 1m当たり単価表

溶接管 吊込み据付 溶接口数:10口以下
100mm トラック[クレーン装置付] 4t積 2.9t吊

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.06				4週8休
普通作業員		人	0.084				4週8休
トラック運転	クレーン装置付 4t積 2.9t吊	時間	1.524				第40号単価表
合 計		m	10				
単位当り		m	1				
呼び径 種別 埋設物補正	A = 02 100mm B = 02 B種 C = 01 少ない			作業帯補正D = 01 良好 溶接口数補正E = 03 10口以下			

第18号		防凍工 1m当たり単価表					呼び径80mm	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
ポリエチレンフォーム保温筒	t=20mm φ80	m	1.03			9		
粘着テープ	t=0.2mm	m	1.2			9		
ポリエチレンフィルム	t=0.05mm 幅125	m	8			9		
ステンレス鋼板	(SUS304) t=0.3mm	m ²	0.6			9		
諸雑費		%	5					
保温工		人	0.083				4週8休	
板金工		人	0.174				4週8休	
合 計		m	1					
	呼び径 A = 04 80mm							

第19号

管明示シート工 1m当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.4				4週8休
埋設標識シート	ポリエチレンクロス 150mm	m	100				折込率2倍, アルミなし
合 計		m	100				
単位当り		m	1				

第20号

管明示テープ工 (ポリエチレン管) 1m当たり単価表

HPPE φ75

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
管明示テープ工(ポリエチレン管布設工)	テープの貼付手間のみ 呼び径φ75	m	100				第41号単価表
明示テープ	全管種共通	m	133.91				幅50mm、年号入り
合 計		m	100				
単位当り		m	1				
	口径A = 03 HPPE φ75						

舗装版切断 1m当たり単価表

アスファルト舗装版
アスファルト舗装版厚15cm以下第21号の1
機械構成比：15.42% 労務構成比：57.13% 材料構成比：27.45% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		
その他(機械)			その他(機械)		
特殊作業員	19.6%		特殊作業員		4週8休
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		4週8休
普通作業員	8.73%		普通作業員		4週8休
その他(労務)			その他(労務)		
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		
その他(材料)			その他(材料)		
積算単価			積算単価		
舗装版種別 A = 01 アスファルト舗装版		1日未満で完了する作業の適用	E = 01 -(全ての費用)		

第22号

小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 1㎡当たり単価表

舗装厚0cmを超え10cm以下
バックホウ 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	0.49				4週8休
普通作業員		人	0.74				4週8休
小型バックホウ運転	カ-7型 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)	日	0.606				第42号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		㎡	100				
単位当り		㎡	1				
	規格 A = 07 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)			舗装厚 B = 01	0cmを超え10cm以下		

第23号

アスファルト塊処理 1m3当たり単価表

小型BH山積0.13m3 ダンプ2t積
DID区間無し 良好 運搬距離12km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
アスファルト塊運搬費	小型BH山積0.13m3 ダンプ2t積 DID区間無し 良好 運搬距離12km	m3	1				第43号単価表
合 計		m3	1				
	規格 A = 02 小型BH山積0.13m3 ダンプ2t積 運搬距離(km) B = 12 DID区間 C = 01 DID区間無し			路面状態 D = 01 良好 種別 E = 02 アスファルト塊			

第24号								バックホウ掘削積込 1m3当たり単価表		排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要				
土木一般世話役		人	1.9				4週8休				
普通作業員		人	5				4週8休				
バックホウ運転	加-7型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	11.1				第44号単価表				
諸雑費		式	1								
合 計		m3	100								
単位当り		m3	1								
バックホウ規格	A = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)										

第25号

管路埋戻(機械埋戻バックホ) 1m3当たり単価表

 タンパ 締めめ 購入土 (山土 CBR \geq 12)
 バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	2.5				4週8休
普通作業員		人	6.8				4週8休
バックホ運転	加-7型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	7.6				第44号単価表
タンパ 運転(賃料)	タンパ 60~80kg	日	3				第45号単価表
山土	CBR \geq 12	m ³	100				
諸雑費		式	1				
合 計		m ³	100				
単位当り		m ³	1				
埋戻材料	A = 08 購入土 (山土 CBR \geq 12)			バックホ規格C = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)			

第26号

管路埋戻(機械埋戻バックホ) 1m3当たり単価表

タンパ 締固め 発生土
バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	2.5				4週8休
普通作業員		人	6.8				4週8休
バックホ運転	加型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	7.6				第44号単価表
タンパ 運転(賃料)	タンパ 60~80kg	日	3				第45号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				
埋戻材料	A = 01 発生土			バックホ規格C = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)			

第27号

発生土処理 1m3当たり単価表

BH山積0.28m3 ダンプ4t積
DID区間無し 良好 運搬距離10.8km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
発生土運搬費	BH山積0.28m3 ダンプ4t積 DID区間無し 良好 運搬距離10.8km	m3	1				第46号単価表
合 計		m3	1				
	規格 A = 04 BH山積0.28m3 ダンプ4t積 運搬距離(km) B = 10.8 DID区間 C = 01 DID区間無し			路面状態D = 01 良好 種別E = 01 発生土			

第28号

路盤工 1㎡当たり単価表

クラッシャーラン C-30
施工幅1.8m未満 t=0.1m(1層)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.78				4週8休
クラッシャーラン	C-30	m ³	12.7				
ﾀﾝﾊﾟ 運転(賃料)	ﾀﾝﾊﾟ 60～80kg	日	0.45				第47号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m ²	100				
単位当り		m ²	1				
施工幅 路盤材種別	A = 01 1.8m未満 B = 01 クラッシャーラン C-30			路盤材厚(m) 路盤種別	C = 0.1 D = 02 下層路盤		

第29号

路盤工 1m²当たり単価表

粒度調整砕石 M-30
施工幅1.8m未満 t=0.12m(1層)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.78				4週8休
粒度調整砕石	M-30	m ³	15.24				
ﾀﾝﾊﾞ 運転(賃料)	ﾀﾝﾊﾞ 60～80kg	日	0.45				第47号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m ²	100				
単位当り		m ²	1				
施工幅 路盤材種別	A = 01 1.8m未満 B = 04 粒度調整砕石 M-30			路盤材厚(m) 路盤種別	C = 0.12 D = 01 上層路盤		

第30号の1		アスファルト舗装(人力) 1m ² 当たり単価表					車道・路肩部 再生密粒度アスコン(13) 舗装厚30mm 瀝青材散布なし	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
土木一般世話役		人	0.4			29	4週8休	
特殊作業員		人	0.8			29	4週8休	
普通作業員		人	1.6			29	4週8休	
再生密粒度アスコン	(13)	t	7.544					
振動ローリ運転	ハトガイト式 0.5～0.6t	日	0.4			29	第48号単価表	
振動コンパクタ運転	前進型 40～60kg	日	0.8			29	第49号単価表	
諸雑費		%	6					
合 計		m ²	100					
単位当り		m ²	1					
アスファルト混合物種類 A = 09 再生密粒度アスコン(13) 歩車道区分 B = 01 車道・路肩部				舗装厚(mm) D = 30 散布種類 E = 01 瀝青材散布なし				

第30号の2

アスファルト舗装(人力) 1㎡当たり単価表

車道・路肩部 再生密粒度7スロ(13)
舗装厚30mm 瀝青材散布なし

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
[t]1層当り仕上り厚さ	C = 01 t ≤ 50			砂まき F = 02	砂まき無し		

第31号

ポンプ据付・撤去工 1箇所当たり単価表

下水道用設計標準歩掛表
摘 要

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
据付・撤去工		現場	1				第50号単価表
合 計		箇所	1				

第32号

ポンプ運転工 1 日当たり単価表

作業時排水, 発動発電機
ポンプ2台
下水道用設計標準歩掛表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ポンプ運転工		日	1				第6号単価表
合 計		日	1				
排水区分 電源区分	A = 01 作業時排水 B = 02 発動発電機			ポンプ台数C = 02 2台 工事用水中ポンプ規格D = 01 潜水ポンプ口径50mm全揚程5m			

第33号

交通整理員(交通誘導員B) 1人・日当たり単価表

昼間勤務

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
交通誘導警備員B		人	1				4週8休
合 計		人・日	1				
作業区分	A = 01 昼間勤務			区分B = 02	交通誘導員B		

コンクリートアンカーボルト設置 1本あたり単価表

あと施工アンカー(各種)

第34号
 機械構成比：0% 労務構成比：92.58% 材料構成比：7.42% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機労材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機労材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
特殊作業員	46.76%		特殊作業員		4週8休
土木一般世話役	22.26%		土木一般世話役		4週8休
普通作業員	21.75%		普通作業員		4週8休
その他(労務)			その他(労務)		
接着系あと施工アンカー M16×L150mm 全ネジボルトM16×L200mm	7.28%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		
その他(材料)			その他(材料)		
積算単価			積算単価		
足場の有無 A = 02 足場有り 【F】あと施工アンカー(本) D =					
あと施工アンカーの種類 B = 04 あと施工アンカー(各種)					

コンクリートアンカーボルト設置 1本あたり単価表

スリーブ打込み式
M16(W5/8)×120 電気亜鉛めっき

第35号
機械構成比：0% 労務構成比：92.58% 材料構成比：7.42% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機労材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機労材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
特殊作業員	46.76%		特殊作業員		4週8休
土木一般世話役	22.26%		土木一般世話役		4週8休
普通作業員	21.75%		普通作業員		4週8休
その他(労務)			その他(労務)		
あと施工アンカー スリーブ打込み式 M16(W5/8)×120 電気亜鉛めっき	7.28%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		
その他(材料)			その他(材料)		
積算単価			積算単価		
足場の有無 A = 02 足場有り			あと施工アンカーのサイズ C = 19 M16(W5/8)×120 電気亜鉛めっき		
あと施工アンカーの種類 B = 03 スリーブ打込み式					

第36号

仮設材等の積込み・取卸し 1式当たり単価表

鋼矢板, H形鋼, 覆工板, 敷鉄板等
基地積込-現場取卸積込-基地取卸
0.289t/枚 × 39枚

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
仮設材積込み費 (基地)		t	11				
仮設材取卸し費 (現場)		t	11				
仮設材積込み費 (現場)		t	11				
仮設材取卸し費 (基地)		t	11				
合 計		式	1				
	区分 A = 03 基地積込-現場取卸積込-基地取卸		仮設材重量(t) B = 11				

第37号

硬質塩化ビニル管切断工 1口当たり単価表

撤去管
呼び径75mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.005			9	4週8休
普通作業員		人	0.005			9	4週8休
諸雑費		%	5				
合 計		口	1				
	呼び径 A = 08 75mm						

第38号

TS継手工 1口当たり単価表

1口当たり
呼び径75mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.02			9	4週8休
普通作業員		人	0.02			9	4週8休
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				
	呼び径 A = 08 75mm			単位B = 01	1口当たり		

第39号

管撤去工 1m当たり単価表

VPRR
φ75
形式撤去

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0				4週8休
普通作業員		人	0				4週8休
合 計		m	1				

第40号		トラック運転 1時間当たり単価表					クレーン装置付 4t積 2.9t吊	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊運転手		人	0.17				4週8休	
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	5.3					
トラック	クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	時間	1					
諸雑費		式	1					
合 計		時間	1					
	規格 A = 11 クレーン装置付 4t積 2.9t吊							

第41号

管明示テープ工(ポリエチレン管布設工) 1m当たり単価表

テープの貼付手間のみ
呼び径φ75

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.1				4週8休
合 計		m	100				
単位当り		m	1				
	呼び径 A = 02 φ75						

第42号

小型バックホウ運転 1日当たり単価表

加型 排対2次 山積0.13m³(平積0.1m³)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊運転手		人	1				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	23				
小型バックホウ(クローラ型)	標準型・排2 山積0.13/平積0.10m ³	供用日	1.78				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
バックホウ規格 運転労務数量 燃料消費量	A = 07 排対2次 山積0.13m ³ (平積0.1m ³) B = 1 C = 23			機械損料数量D = 1.78 損料割増E = 01 割増なし			

第43号

アスファルト塊運搬費 1m3当たり単価表

小型BH山積0.13m3 ダンプ2t積
DID区間無し 良好 運搬距離12km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック運転	割増なし 2t積級 良好	日	2.34				第53号単価表
合 計		m3	10				
単位当り		m3	1				
	規格 A = 02 小型BH山積0.13m3 ダンプ2t積 運搬距離(km) B = 12 DID区間 C = 01 DID区間無し			路面状態 D = 01 良好 種別 E = 02 アスファルト塊			

第44号

バックホ運転 1時間あたり単価表

加型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊運転手		人	0.16				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	5.9				
バックホウ(クローラ型)	標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	時間	1				
諸雑費		式	1				
合 計		時間	1				
	バックホ規格 損料割増	A = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3) B = 01 割増なし		運転労務数量C = 0.16 燃料消費量D = 5.9			

第45号

タンパ° 運転(賃料) 1日当たり単価表

タンパ° 60~80kg

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				4週8休
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5				
<賃>タンパ(ランマ)	質量60~80kg	供用日	1.38				4週8休
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
タンパ° 規格 A = 01 タンパ° 60~80kg 運転労務数量 B = 1				燃料消費量 C = 5 機械賃料数量 D = 1.38			

第46号

発生土運搬費 1m3当たり単価表

BH山積0.28m3 ダンプ 4t積
DID区間無し 良好 運搬距離10.8km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック運転	割増なし 4t積級 良好	日	0.9				第54号単価表
合 計		m3	10				
単位当り		m3	1				
	規格 A = 04 BH山積0.28m3 ダンプ 4t積 運搬距離(km) B = 10.8 DID区間 C = 01 DID区間無し			路面状態 D = 01 良好 種別 E = 01 発生土			

第47号

タンパ° 運転(賃料) 1日当たり単価表

タンパ° 60~80kg

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				4週8休
ガソリン	レギュラー スタンド	L	4				
<賃>タンパ(ランマ)	質量60~80kg	供用日	1.61				4週8休
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
タンパ° 規格 運転労務数量	A = 01 タンパ° 60~80kg B = 1			燃料消費量C = 4 機械賃料数量D = 1.61			

第48号

振動ローラ運転 1日当たり単価表

ハンドガイド式
0.5~0.6t

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	3				
振動ローラ (舗装用)	ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	供用日	1.23				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
	規格 A = 01 0.5~0.6t 燃料消費量 B = 3			機械損料数量 C = 1.23			

第49号		振動コンパクト運転 1日当たり単価表					前進型 40～60kg	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊作業員		人	1				4週8休	
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5					
振動コンパクト	前進型 運転質量40～60kg	供用日	1.4					
諸雑費		式	1					
合 計		日	1					
	規格 A = 01 前進型 40～60kg 燃料消費量 B = 5			機械損料数量 C = 1.4				

コンクリート 1m3当たり単価表

小型構造物 18-8-40BB
人力打設

第51号
機械構成比：0% 労務構成比：42.01% 材料構成比：57.99% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
普通作業員	22.75%		普通作業員		4週8休
土木一般世話役	9.31%		土木一般世話役		4週8休
特殊作業員	7.89%		特殊作業員		4週8休
その他(労務)			その他(労務)		
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		
積算単価			積算単価		
構造物種別 A = 02 小型構造物			現場内小運搬の有無 H = 02 現場内小運搬無し		
打設工法 B = 03 人力打設			生コンクリート小型車割増 J = 01 -		
コンクリート規格 C = 02 18-8-40BB			1日未満で完了する作業の適用 K = 01 -(全ての費用)		
養生工の種類 F = 02 一般養生					

型枠 1m2当たり単価表

一般型枠
小型構造物

第52号
機械構成比：0% 労務構成比：100% 材料構成比：0% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機労材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機労材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		4週8休
普通作業員	31.27%		普通作業員		4週8休
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		4週8休
その他(労務)			その他(労務)		
積算単価			積算単価		
型枠の種類 A = 01 一般型枠 構造物の種類 B = 02 小型構造物		1日未満で完了する作業の適用 C = 01 -(全ての費用)			

第53号

ダンプトラック運転 1日当たり単価表

割増なし
2t積級 良好

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
一般運転手		人	1				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	21				
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	供用日	1.29				
タイヤ損耗費	ダンプトラック	供用日	1.29				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
	規格 A = 01 2t積級 損料割増 B = 01 割増なし 路面状態 C = 01 良好 運転労務数量 D = 1			燃料消費量 E = 21 機械損料数量(ダンプトラック) F = 1.29 機械損料数量(タイヤ損耗費) G = 1.29			

第54号

ダンプトラック運転 1日当たり単価表

割増なし
4t積級 良好

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
一般運転手		人	1				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	32				
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t積級	供用日	1.29				
タイヤ損耗費	ダンプトラック	供用日	1.29				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
	規格 A = 02 4t積級 損料割増 B = 01 割増なし 路面状態 C = 01 良好 運転労務数量 D = 1			燃料消費量 E = 32 機械損料数量(ダンプトラック) F = 1.29 機械損料数量(タイヤ損耗費) G = 1.29			

第55号		通水試験工 1日当たり単価表						給水車不要	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
配管工		人	3			9	4週8休		
普通作業員		人	3			9	4週8休		
器具損料及び諸雑費		%	20						
合 計		日	1						
	給水車 A = 02 不要								

